

佐藤勉自由民主党総務会長祝辞

第六十四回町村議会議長全国大会の開催おめでとうございます。町村議会議長会の皆様におかれましては、日頃より自民党の政策や活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。毎年、こうしてわが党の代表をお招きいただき、ご挨拶の機会をいただいていることに感謝申し上げます。

冒頭、令和二年七月豪雨により被害を受けられた被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになった方々にお悔やみ申し上げます。この場にいらっしゃる皆様は、住民の一番近くにおられ、様々な現場の声を聴かれるお立場だと思います。皆様の住民に寄り添った活動に、心より敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症により、地域経済は深刻な影響を受けました。我々はコロナの拡がりを抑えつつ、深刻な打撃を受けた経済を立て直していかなくてはなりません。政府・与党として、感染症対策、防災・減災、国土強靱化等を柱とする第三次補正予算の編成を進めており、効果的な予算配分を行い实体经济の回復に繋げるべく、今後も地方の声に寄り添ったあらゆる施策を講じていきます。

地方が抱える諸課題解決に向けた取組みを進めていくには、地域の実情に沿ったきめ細やかな対策を講じる必要があります。そのためにも、地方団体の安定的な財政運営のための一般財源の総額確保は不可欠です。令和二年度の一般財源総額については、前年度を1,1兆円上回る六十一、八兆円を確保しました。わが党は引き続き、来年度の予算編成においても地方一般財源の充実・強化を図ってまいります。

現行の過疎対策特別措置法は、来年三月末に期限を迎えます。自民党の「過疎対策特別委員会」では、これまで全国の過疎町村に足を運び、更にオンライン会議を駆使するなどして、過疎地域の方々と意見交換を重ねてまいりました。今後は党内で更に議論を深め、住民の方々が直面している課題に即した、新たな過疎対策法案を策定してまいります。

菅総理は就任早々、「活力ある地方を創ることが菅内閣の最重要政策の一つだ」とメッセージを発信しました。私自身もまた、県議会議員を約十年間務め、総務大臣を経験し、一貫して「地方の発展」を信条に、取り組んでまいりました。自民党は、これからも「地方こそ原点」の初心を忘れず、皆様と共に汗をかいてまいりますことをお誓い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

令和2年11月25日

自由民主党総務会長 佐藤 勉